

担い手確保・育成情報発信活動による広報

建設共済保険制度の広報活動事業(平成27年度より開始)

- ・当団と各建設業協会の広報活動とのタイアップによる建設共済保険制度の広報活動を実施(協会への拠出額の上限を首都圏と愛知・大阪の6協会は450万円、北海道・兵庫・福岡の3協会は320万円、加入促進重点地区の栃木・新潟・石川・広島は300万円、その他の協会は270万円、全建には600万円を原則とし、担い手確保・育成情報発信活動を実施する協会には20万円を上限に上乗せする。)
- ・平成29年度から他の模範となる広報活動を表彰

建設業界の喫緊の課題(担い手確保・育成)と連携した継続的な情報発信活動へ

建設業界の広報活動

- ・業界を挙げての建設業の魅力発信は各種展開されている
- ・建設産業戦略的広報推進協議会の「建設業界へGO!」
- ・一般財団法人建設業振興基金の建設業の支援事業・情報のポータルサイトであるヨイケンセツドットコム
- ・協会のホームページでの情報発信 等

各協会と連携し地域に根ざした広報活動を展開することにより、建設業の魅力発信を一層強化する一助としていく。

若者に夢と希望を与える
担い手確保・育成情報発信活動
(一般助成事業の別枠で10万円を上限に助成する)

「担い手確保・育成」をテーマに各都道府県協会が実施する建設業の魅力の継続的な情報発信と連携し、建設共済保険のPRを行う。

活動例

若者の心をとらえて夢と希望を与えるような情報の収集、企画、発信を行う。(将来の建設業を担う青年部、女性部等と共同して行うことも想定。)

(1) 情報発信例

情報発信内容例に示す内容について、各協会のホームページ又は独立したWebサイト等に専用のコーナーを設け、情報発信を行う。必要に応じて、小冊子等を作成し、イベント等での配布にも活用する。

(2) 情報収集活動例

- ・各協会の会員や、有識者(大学、高専、高校の先生等含む)にアンケートを送付し、建設業の魅力伝える情報の提供や、意見を頂くとともに、各協会の事務局で情報の選定や、イベントの企画、広報活動や動画制作等の企画につなげる。

(3) 建設共済保険の広告

- ・「建設共済保険の10のポイント」のバナーを付けるとともに、本活動の成果物としての広報活動や各協会の本活動ページには、建設共済保険のポスターや広告を掲載する。

(4) 共済団のホームページとのリンク

- ・共済団のホームページに、各協会の掲載ページとリンクするコーナーを設ける。

情報発信内容例

①メッセージの紹介

- ・先輩からのメッセージ、先生から君たちへのメッセージ、社長から若者たちへのメッセージ

②各地域の建設業の魅力を伝えるような企画(出前講義等)や本、映画、日本(郷土)の建造物、人物等の紹介

③建設業の企業の歴史、高校生・大学生向けの社史ダイジェスト 等

具体例

・各協会の建設共済保険とタイアップした広告の優秀作品

(共済団のHP <https://www.kyousaidan.or.jp/>)

・映像の例

- ・超高層のあけぼの(1962年)【霞が関ビル建設に命を賭けた男たちの熱いドラマ】
- ・富士山頂(1970年)【富士山頂に気象レーダーを設置するまでのさまざまな闘い】
- ・海峡(1982年)【青函トンネルに人生を賭けた男たち!】
- ・甦える大地(1971年)【鹿島臨海工業地帯を造成するまでの紆余曲折】
- ・摩天楼(1949年)【建築家と個性的な人物たちが繰り広げるヒューマンドラマ】
- ・タワーリングインフェルノ(1974年)【ビル火災のパニック映画】
- ・釣りバカ日誌(全20巻)【建設会社のダメ社員・ハマちゃんと社長スーさんコメディシリーズ】

- ・プロジェクトX・新プロジェクトX(厳冬 黒四ダムに挑む、鉄道分断 突貫作戦 奇跡の74日間、東京タワー 恋人たちの戦い、男たち不屈のドラマ 瀬戸大橋、友の死を越えて～青函トンネル・24年の大工事～ 等)
- ・土木学会附属土木図書館の土木技術映像ライブラリ

・本の例

- ・黒部の太陽(信濃毎日新聞社)【昭和39年、毎日新聞に連載された同名の記録小説に、数十枚の加筆を行った作品】(1968年に映画化されている)
- ・土木偉人かるた(土木学会)
- ・辰野金吾(ミネルヴァ書房)【建築界の礎を築き、東京駅や日本銀行本店など日本を代表する建築作品を設計したことで知られる辰野金吾】
- ・昼間のパパは光ってる(徳間書店)【働く喜びと苦悩、支える家族達への想いとは。ダム造りに取り込む若手技術者が葛藤を乗り越えながら成長していくビジネスドラマ】